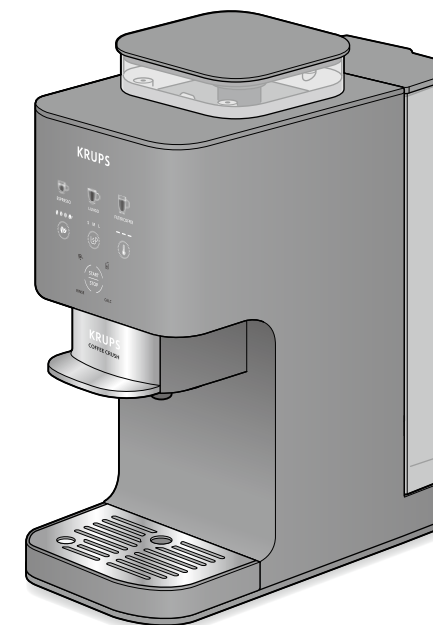


全自動エスプレッソマシン

Coffee Crush

コーヒークラッシュ

SA4028J0



はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	4

使い方

各部の名称	5
初めてご使用になるときは	7
メニューについて	9
材料を用意する	10
コーヒー豆から抽出する	11
コーヒー粉から抽出する	16

その他

お手入れ	20
故障かなと思ったら	24
保管について	26
製品仕様	29

● お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ごぞいます。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

キリン線

Ref:1520019121-02

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター



0570-077772

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

修理センター

※ 商品により部品としての取り扱いのない場合がございます。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

絵表示の例



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が表記されています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が表記されています。



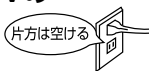
警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

電源・電源コード



指示

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する



他の機器と併用すると、発熱による火災や故障の原因になります。

使用中、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社修理センターまでご相談ください。

異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

そのまま使うと、ショートや発火するおそれがあります。弊社修理センターまでご相談ください。



禁止

海外など、異なる電源電圧の地域で使用しない

当製品は日本国内専用です。

ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない。電源コードを束ねたまま使用しない
発火、故障の原因になります。



禁止

電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない
そのまま使うと、感電、ショートや発火するおそれがあります。



指示

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

● 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。



禁止

電源プラグや電源コードを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

電源プラグ・コード、コンセント、本体の電源プラグ差込口に水をかけたり、水に浸けたり、水洗いしたりしない

火災、感電の原因になります。

お取り扱い



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造しない

発火したり、異常作動をしてけがをするおそれがあります。
電源コードが損傷した場合は、そのまま使用せずに弊社修理センターまでご相談ください。



禁止

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

本体を水に浸さない

ショートしたり、感電をするおそれがあります。



指示

設定した抽出量に対して十分な容量の容器を準備する

飲み物がこぼれてやけどの原因になります。



禁止

直火（ガス台や電気ヒーター）、電磁調理器（IH）、電子レンジなどに使わない

火災・熱変色・変形・故障の原因になります。

安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）には、単独で使用またはお手入れさせない。また、製品で子供が遊ばないように注意する

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

抽出後の飲み物を受けるためのカップなしで使用しない

やけどや故障をするおそれがあります。

抽出中にフィルターをはずさない

やけどや故障をするおそれがあります。

蒸気が出るところに触ったり、手を近づけない

やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



注意 誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性および物的損害が想定される内容です。

電源・電源コード



コンセントからはずす

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



指示

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電したりショートしたりして、発火するおそれがあります。

安全上のご注意 (続き)

お取り扱い



指示

コンセントに電源プラグを差し込んでいるときは、電源コードを引っかけないように気をつける
本体が落下し、やけどやけがをするおそれがあります。

お手入れは各部分が十分に冷えてからおこなう

熱いうちに高温部に触れると、やけどの原因になります。



禁止

抽出中は本体を動かさない
やけどの原因になります。

水タンクが空の状態では電源をオンにしない

故障、火災の原因になります。

抽出中や抽出後しばらくは高温部（抽出口、フィルターなど）に触れない

やけどの原因になります。

ガラス窓の近くで使用しない

ヒビが入ったり、割れることがあります。



禁止

抽出中は、フィルターの近くに手を近づけない

フィルターの周囲から熱い蒸気が出て、やけどの原因となります。

本製品の蒸気が他の電気機器に当たるような場所で使用しない

電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

不安定な場所や、熱に弱い敷物の上、可燃物の近く（カーテンの近くなど）では使わない

火災の原因になったり、けがややけどをするおそれがあります。

キャビネットの中、または壁や家具の近くで使用しない

蒸気または熱で家具を傷め、変色、変形の原因になります。

ストーブやガスコンロなど熱源のそばや直射日光が当たる場所では使わない

本体のプラスチック部分が熱で損傷し、けがややけどをするおそれがあります。

使用上のご注意

●故障の原因になりますので、以下の点にご注意ください。

- ・抽出中は、フィルターをふきんなどでふさがない
- ・水タンクに水以外のものを入れない

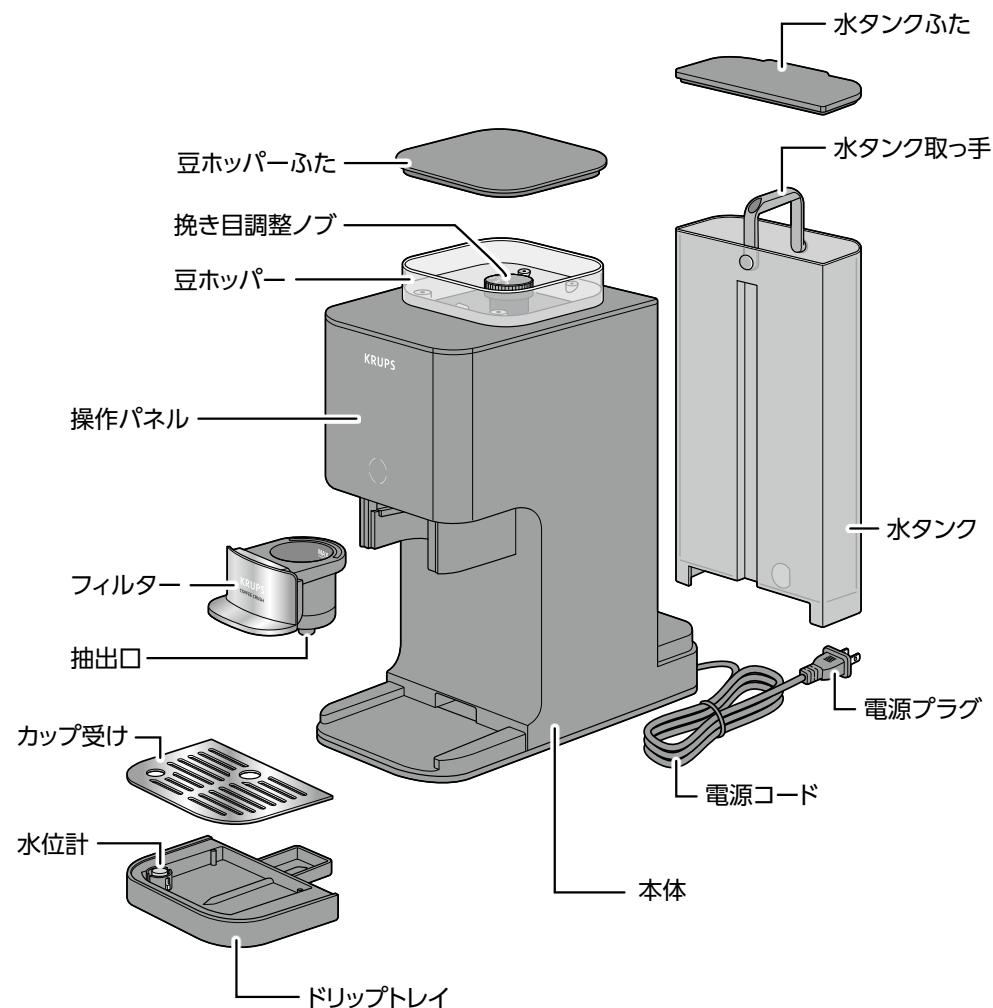
●本製品は一般家庭用です。

●本製品は、下記のような業務用や商業用での使用による故障および損傷について、保証は適用されません。

- ・レストランやカフェなどの商業用キッチン
- ・ビジネスオフィス、食堂
- ・ホテル、民宿などの宿泊施設

●長期間使用しないときは、十分に乾燥させた後、においがつかないようにポリ袋などに入れて保管してください。

各部の名称



各部の名称 (続き)

操作パネル



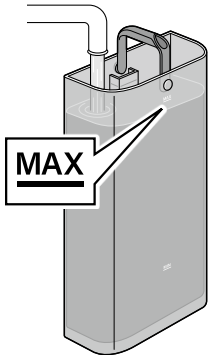
① メニューボタン	メニューを選択します。
② 豆量設定ボタン	コーヒー豆の量（コーヒーの濃さ）を選択します。3段階および粉モードから選択できます。
③ 抽出量設定ボタン	抽出される飲み物の量を3段階から選択します。
④ 湯温設定ボタン	コーヒーを抽出するためのお湯または給湯の温度です。
⑤ 粉捨てランプ	点灯中は飲み物の抽出ができません。20ページを参照し、抽出後のコーヒー粉を捨ててから使用してください。
⑥ 給水ランプ	水タンクの水が不足しているときに点滅します。点灯中は飲み物の抽出ができません。水タンクに水を入れてください。
⑦ START/STOPボタン	電源のオン・オフおよび抽出の開始・停止をします。
⑧ フィルター洗浄ランプ	フィルター洗浄の必要があるときに点滅します。
⑨ 内部洗浄ランプ	内部洗浄（カルキ抜き）の必要があるときに点滅します。

お知らせ
約8分間操作がないと自動で電源がオフになり、操作パネルが消灯します。START/STOPボタンを押すと電源がオンになり、使用できるようになります。
※ START/STOPボタンを2秒間長押しすると、手動で電源をオフにすることができます。

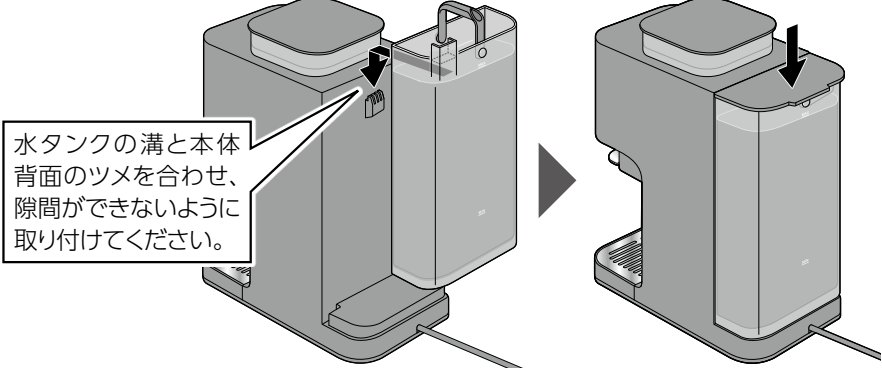
初めてご使用になるときは

- 1 本製品を箱から取り出し、緩衝材・接着テープ・保護フィルム・ステッカーなどを取り外します。
- 2 水タンクふたを取り外してから、水タンクを取り外し、水道水で2～3回すすぎます。
- 3 水タンクにMINライン以上の水を入れます。

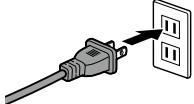
！ ご注意 水タンクのMAXラインを超えて水を入れないでください。



- 4 本体に水タンクを再度取り付け、水タンクふたを取り付けます。



- 5 容量140ml以上の容器を抽出口の下に置きます。フィルターが空であることを確認してください。
- 6 電源プラグをコンセントに差し込みます。すべてのボタン・ランプが数秒点灯後、消灯します。



- 7 START/STOPボタン  を押して、電源をオンにします。
ピーと音が鳴り、操作パネルが右図のように点灯します。



初めてご使用になるときは (続き)

8 以下の手順でフィルター洗浄を行います。

- ①メニューボタンのいずれかを押しします。
- ②メニューボタンの「エスプレッソ」と豆量設定ボタンを同時に3秒長押ししたらフィルター洗浄モードに入ります。フィルター洗浄ランプ「RINSE」と、START/STOPボタンが点滅します。



- ③START/STOPボタンを押して、フィルター洗浄を開始します。フィルター洗浄ランプが点滅し、メニューランプが左から順に点滅します。抽出口からお湯が出て、フィルターが洗浄されます。



9 フィルター洗浄が終わったら、操作パネルが右図のように点灯しますので、容器に溜まったお湯を捨てます。



メニューについて

エスプレッソだけでなく、定番のドリップコーヒーも楽しめます。

メニュー名	抽出量*	特徴
 ESPRESSO	エスプレッソ 約35 ～ 50ml	コーヒーの成分をしっかりと抽出した、濃厚で深い味わいの香り高いコーヒーです。(連続圧力抽出)
 LUNGO	ルンゴ 約70 ～ 110ml	エスプレッソより飲みやすく、深い味わいの香り高いコーヒーです。また、エスプレッソより水分が多いため、抽出される量も多いです。(連続圧力抽出)
 FILTER COFFEE	ドリップコーヒー 約150 ～ 210ml	コーヒー豆を蒸らして香りをしっかりと出しながら、パルス運転で抽出し、本来のドリップコーヒーのような味わいを実現します。(蒸らしと圧力抽出のパルス運転)

- ※ 抽出される量は抽出量設定によって変わります。
- コーヒーの風味は、使用するコーヒー豆の種類や、コーヒー豆の挽き目・コーヒー豆の量・湯温の設定などによって調整することができます。
- 好みの風味になるよう色々と試してみてください。
- エスプレッソ専用のコーヒー豆を使用して、コーヒー豆の量を多く、挽き目を細かく設定すると、濃厚な風味となります。
 - コーヒー豆の量を少なめに、挽き目を粗く設定すると、軽いすっきりした風味となります。

クレマとは
エスプレッソの液面に浮かぶキメ細かい泡を「クレマ」といいます。

理想的なクレマは、褐色または焦げ茶色に近いキャラメル色で、クリーミーです。また、厚みがあり、グラニュー糖をのせてもすぐに沈みません。

エスプレッソの香りが閉じ込められ、冷めにくくなり、おいしいエスプレッソを楽しめます。



材料を用意する おいしいエスプレッソのために

コーヒー豆

エスプレッソ用の豆や、やや深煎りの豆（ハイロースト、シティロースト、フルシティローストなど）がおすすめです。
コーヒー粉を使う場合は、極細挽きや細挽きのものが適しています。

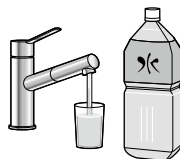


- インスタントコーヒー・ココアパウダーは使用できません。
- 焙煎していない生のコーヒー豆はお使いいただけません。
- 過度に油分の多いコーヒー豆はグラインダーに引き込まれにくいため、使用を避けてください。
- フレーバーコーヒーを淹れる場合は、コーヒー粉を使用してください（16ページ）。

水

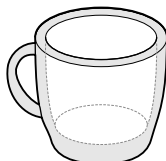
水道水や軟水（硬度：90mg/L以下）のミネラルウォーターが適しています。

- 硬水を使用すると、カルキの成分が詰まりやすくなり、故障の原因になります。
- ミネラルウォーターや浄水器を通した水を使用すると、残留塩素による殺菌効果がないため、カビなどが発生しやすくなります。定期的に各部のお手入れ（20ページ）を行ってください。



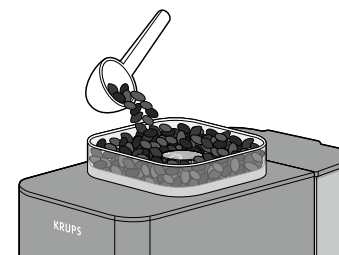
カップ

厚みがあって底面がせまいものが、冷めにくくおすすめです。
エスプレッソには容量60ml前後のもの、カプチーノには容量180ml前後で高さ12cm以内のものが適しています。
ガラス製カップの場合、耐熱性のものを使ってください。



コーヒー豆から抽出する

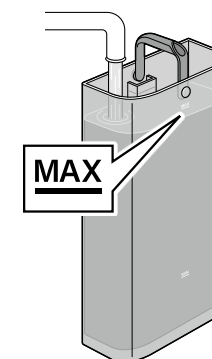
- 1 豆ホッパーふたを開けて、豆ホッパーに好みのコーヒー豆を入れ、豆ホッパーふたを閉めます。



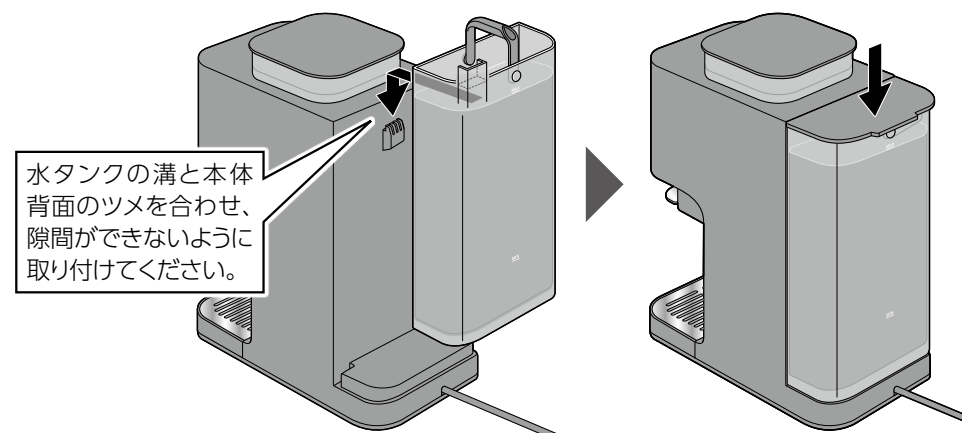
- 2 水タンクふたを取り外してから、水タンクを取り外し、MINライン以上の水を入れます。

！ ご注意

水タンクのMAXラインを超えて水を入れないでください。



- 3 本体に水タンクを再度取り付け、水タンクふたを取り付けます。



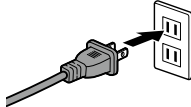
コーヒー豆から抽出する (続き)

4 抽出口の下にカップを置きます。

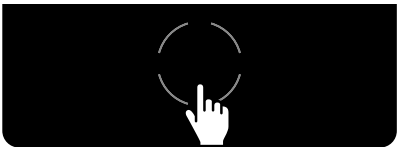
ご注意

カップは、設定する抽出量を十分に受けられる容量があり、底面が安定した倒れにくいものを使用してください。

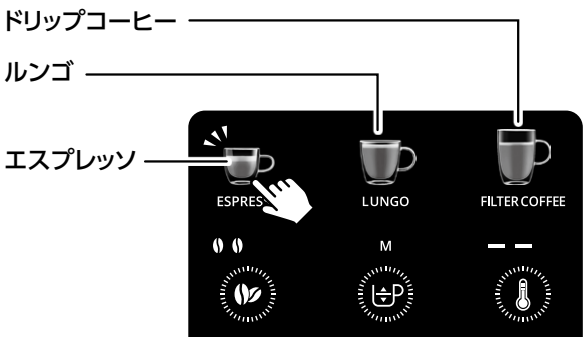
5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
すべてのボタン・ランプが数秒点灯後、消灯します。



6 START/STOPボタン  を押して、電源をオンにします。
ピーと音が鳴り、操作パネルが右図のように点灯します。



7 メニューボタンを押して、好みのメニューを選択します。
選択したメニューボタンが点滅します。
また、各設定ボタンと、START/STOPボタンの文字が点灯します。



8 豆量・抽出量・湯温の設定をします。
豆量・抽出量・湯温を調整したい場合は、各設定ボタンを押して設定します。
※ 豆量、抽出量、湯温を調整しない場合、手順9に進んでください。

豆量設定ボタン

抽出量設定ボタン

湯温設定ボタン

● 豆量の設定

ランプ表示	豆の量 (コーヒーの濃さ)
	薄い
 (初期設定)	↑ ↓
	濃い
	粉モード コーヒー粉から抽出する際に選択します。 ※ 豆から抽出する場合は選択しません。

● 抽出量の設定

ランプ表示	抽出量
S	約 35ml ~ 150ml
M (初期設定)	約 45ml ~ 180ml
L	約 50ml ~ 210ml

※ 選択したメニューによって抽出量は異なります。

● 湯温の設定

ランプ表示	湯温
	低
 (初期設定)	中
	高

コーヒー豆から抽出する (続き)

9 START/STOPボタン を押して、抽出を開始します。

- 抽出後に溜まったコーヒー粉を捨てずに再度抽出しようとする、粉捨てランプ  が点灯します。点灯中は抽出ができません。20ページを参照し、フィルターのお手入れを行ってください。
- 抽出中にSTART/STOPボタンを押すと、運転は停止します。
- 水タンクの水が不足すると、給水ランプ  が点滅し、抽出ができなくなります。水タンクに必要な量の水を入ると給水ランプが消灯し、抽出できるようになります。
- 選択した豆量・抽出量・湯温の設定は、抽出後も電源プラグをコンセントから抜くまでは保存されます。



注意

抽出中はフィルターや抽出口に触らないでください。
やけどの原因になります。

10 抽出が完了したら、カップを抽出の下から取り、飲み物をお召し上がりください。

注意

抽出後に高温のしずくが抽出口から垂れてくる
ことがありますので、十分にご注意ください。
やけどの原因になります。



11 抽出後は、フィルターを手前に引いて取り外し、溜まったコーヒー粉を捨てます。 20ページを参照し、フィルターのお手入れを行ってください。

注意

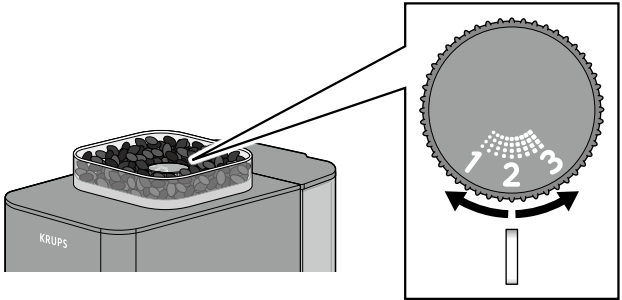
抽出直後のフィルターは大変熱くなっています。製品が冷めてから取り出してください。
やけどの原因になります。

12 使い終わったら、START/STOPボタン を2秒長押しし、電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜きます。

豆の挽き具合を調整する

通常は買い上げ時の設定「2」のままお使いください。

- 1 豆ホッパーふたを取り外します。
- 2 コーヒーを抽出します。
- 3 豆が挽かれている間（グラインダーが動作中）に、挽き目調整ノブを1目盛りだけ回します。
挽き目調整後は、コーヒーを2杯以上抽出しないと効果が得られません。
2杯目以降抽出しても効果を得られなかった場合は、もう一度調整してください。



ご注意

挽き目調整ノブは、豆が挽かれているとき（グラインダーが動作中の時）のみ回してください。
グラインダーが動作していないときに、豆ホッパーにコーヒー豆が入った状態で引き目調整ノブを回すと、故障の原因となります。

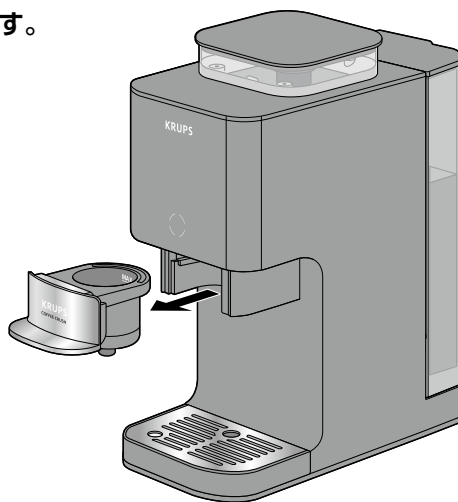
- ノブの数字は目安です。
設定に応じて、コーヒー豆の挽き目とコーヒーの仕上がりは以下のようになります。

挽き目設定の目安	1	2	3
挽き具合	極細挽き ←	中挽き	→ 粗挽き
コーヒーの濃さ	濃い ←		→ 薄い
おすすめの コーヒーの種類	エスプレッソ・ルン ゴ・エスプレッソベ スミルクドリンク	フィルターコーヒー	

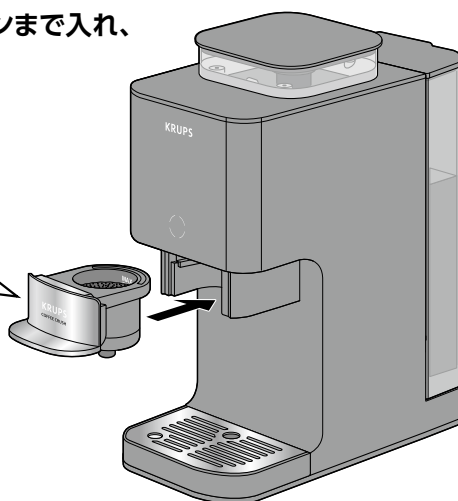
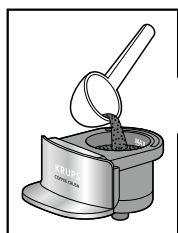
コーヒー粉から抽出する

本製品は、コーヒー豆以外に、コーヒー粉から抽出することができます。

1 フィルターを手前に引いて取り外します。



2 フィルターにコーヒー粉をMAXラインまで入れ、再度本体に取り付けます。



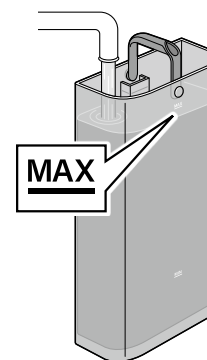
！ **ご注意**

- フィルターのMAXラインを超えてコーヒー粉を入れないでください。故障の原因になります。
- 極細挽きのコーヒー粉を使用する場合は、MAXラインより少なめの量にしてください。

3 水タンクふたを取り外してから、水タンクを取り外し、MINライン以上の水を入れます。

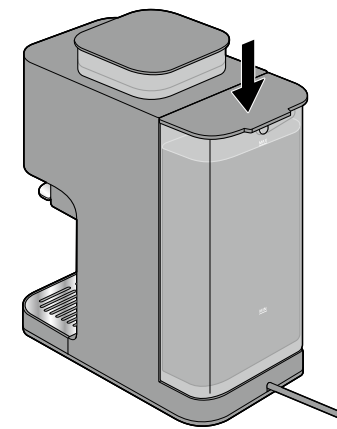
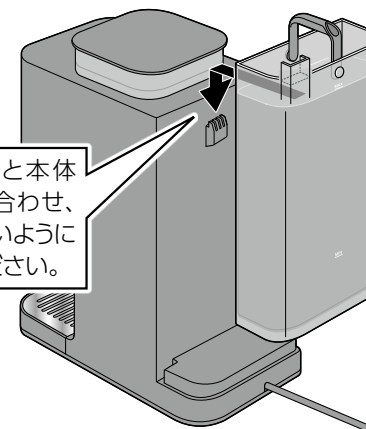
！ **ご注意**

水タンクのMAXラインを超えて水を入れないでください。



4 本体に水タンクを再度取り付け、水タンクふたを取り付けます。

水タンクの溝と本体背面のツメを合わせ、隙間ができないように取り付けてください。



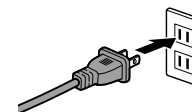
5 抽出口の下にカップを置きます。

！ **ご注意**

水タンクに入れた水量を十分に受け止める容量を持ち、底面が安定しており、抽出中に容易にこぼれないカップをご使用ください。

6 電源プラグをコンセントに差し込みます。

すべてのボタン・ランプが数秒点灯後、消灯します。



コーヒー粉から抽出する (続き)

- 7** START/STOPボタン  を押して、電源をオンにします。
- ピーと音が鳴り、操作パネルが右図のように点灯します。



- 8** メニューボタンを押して、お好みのメニューを選択します。
- 選択したメニューボタンが点滅します。また、各設定ボタンと、START/STOPボタンの文字が点灯します。



- 9** 豆量設定ボタン  を押して、粉モードを選択します。
-  が点灯するまで、豆量設定ボタンを繰り返し押してください。



- 10** 「コーヒー豆から抽出する」(13ページ)と同様に、必要に応じて抽出量・湯温を選択し、START/STOPボタンを押して抽出します。

- 抽出後に溜まったコーヒー粉を捨てずに再度抽出しようとする、粉捨てランプ  が点灯します。点灯中は抽出ができません。20ページを参照し、フィルターのお手入れを行ってください。
- 抽出中にSTART/STOPボタンを押すと、運転は停止します。
- 水タンクの水が不足すると、給水ランプ  が点滅し、抽出ができなくなります。水タンクに必要な量の水を入れると給水ランプが消灯し、抽出できるようになります。
- 選択した豆量・抽出量・湯温の設定は、抽出後も電源プラグをコンセントから抜くまでは保存されます。



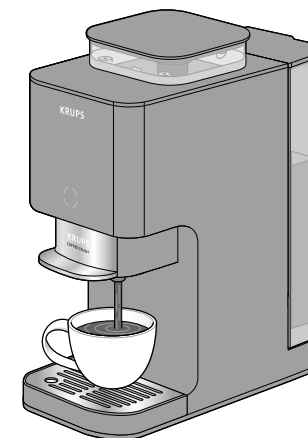
⚠ 注意

抽出中はフィルターや抽出口に触らないでください。
やけどの原因になります。

- 11** 抽出完了したら、カップを抽出口の下から取り、飲み物をお召し上がりください。

⚠ 注意

抽出後に高温のしずくが抽出口から垂れてくることがありますので、十分にご注意ください。
やけどの原因になります。



- 12** 抽出後は、フィルターを手前に引いて取り外し、溜まったコーヒー粉を捨てます。
20ページを参照し、フィルターのお手入れを行ってください。

⚠ 注意

抽出直後のフィルターは大変熱くなっています。製品が冷めてから取り出してください。
やけどの原因になります。

- 13** 使い終わったら、START/STOPボタン  を2秒長押しし、電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜きます。

お手入れ



注意

- 必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めるのを待ってからお手入れをしてください。
- 本体は水に浸けないでください。

本体外側のお手入れ

本体が冷めるのを待ち、乾いたやわらかい布で拭いてください。
がんこな汚れには、ぬらした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。

フィルターのお手入れ

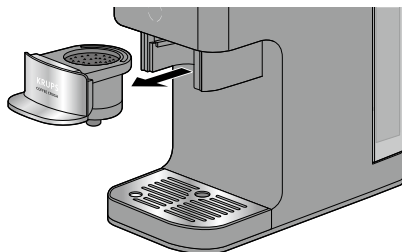
抽出後は、フィルターに溜まったコーヒー粉を捨ててください。

1 フィルターを手前に引いて取り外します。



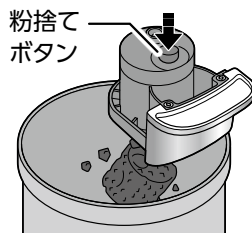
注意

抽出直後のフィルターは大変熱くなっています。製品が冷めてから取り出してください。
やけどの原因になります。



2 ゴミ箱などの上でフィルターを逆さにしてから粉捨てボタンを押して、溜まったコーヒー粉を捨てます。

粉捨てボタンを押すと、フィルター内のコーヒー粉が押し出されます。



3 フィルターを水洗いします。

フィルターに付着しているコーヒー粉や汚れを洗い流してください。



4 フィルターを本体に再度取り付けます。

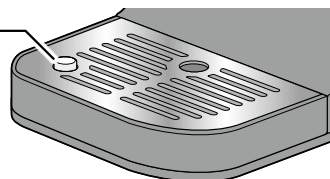
再度使用できるようになります。

ドリフトレイのお手入れ

水位計の先端がカップ受けの穴から出てきたら、ドリフトレイを取り外して溜まった水を捨ててください。

使用後は溜まった水を捨て、水洗いしてから乾燥させてください。

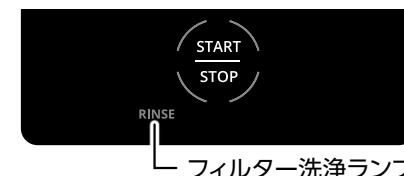
水位計



フィルター洗浄

抽出を42回行うと、フィルター洗浄ランプ「RINSE」が点灯します。

以下の手順に従ってフィルター洗浄を行ってください。



フィルター洗浄ランプ

1 水タンクを取り外し、MINライン以上の水を入れ、本体に再度取り付けます。

❗ ご注意 水タンクのMAXラインを超えて水を入れないでください。

2 容量140ml以上の容器を抽出口の下に置きます。

フィルターが空であることを確認してください。

3 メニューボタンのいずれかを押します。

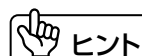
4 メニューボタンの「エスプレッソ」と「豆量設定ボタン」を同時に3秒長押ししてフィルター洗浄モードに入ります。

フィルター洗浄モードに入ると、フィルター洗浄ランプ「RINSE」と「START/STOP」が点滅します。



5 「START/STOP」ボタンを押して、洗浄を開始します。

6 洗浄が終わったら、容器に溜まったお湯を捨てます。



ヒント

フィルター洗浄ランプ「RINSE」が点灯していない状態でも、上記手順でいつでもフィルター洗浄ができます。

お手入れ (続き)

内部洗浄 (カルキ抜き)

エスプレッソマシンを長期間使用すると、内部水路に水の石灰質が貯留します。

本製品では、抽出を200回行くと、内部洗浄ランプ「CALC」が点滅してお知らせします。内部洗浄ランプが点滅した場合は、以下の手順に従って内部洗浄を行ってください。

- 内部洗浄には、家庭用コーヒーマシンの除石灰剤が必要です。別途お買い求めください。
- 内部洗浄ランプ「CALC」が点滅した後も内部洗浄せずに使用を続けると、230回の抽出後、内部洗浄ランプ・メニューボタンの「LUNGO」・豆量設定ボタン以外が消灯し、抽出できなくなります。その場合は、内部洗浄を行ってください。

1 水タンクを取り外し、水と除石灰剤を適切な比率で水タンクに入れ、よく混ぜます。

比率は、市販の除石灰剤の取扱説明書に従ってください。

- ！ ご注意**
- 水タンクのMINライン以上に水を入れてください。
 - 水タンクのMAXラインを超えて水を入れないでください。

2 水タンクを本体に再度取り付けます。

3 容量500ml以上の容器を抽出口の下に置きます。

4 メニューボタンのいずれかを押します。

5 メニューボタンの「LUNGO」と「豆量設定ボタン」を同時に3秒長押しして内部洗浄モードに入ります。

内部洗浄モードに入ると、内部洗浄ランプ「CALC」と「START/STOP」が点滅します。



6 START/STOPボタンを押して、洗浄サイクルを開始します。

内部洗浄ランプが点滅し、メニューランプが左から順に点滅します。

- 洗浄サイクルが終わると、給水ランプが点滅します。



注意

内部洗浄中は、本製品から離れないでください。

容器の容量によっては、内部洗浄した後のお湯を受け止めきれない場合があります。

その場合は、お湯が容器からあふれる前に「START/STOP」ボタンを押して洗浄を一時停止し、容器内の使用済みの洗浄水を捨ててください。その後、再度抽出口の下に容器を置いてから「START/STOP」ボタンを押して洗浄を再開します。

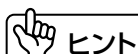
給水ランプが点滅するまで繰り返してください。

7 洗浄サイクルが終わったら、容器に溜まったお湯と、水タンクに残った水を捨てます。

8 再度水タンクのMAXラインまで水を入れて本体に取り付け、容量500ml以上の容器を抽出口の下に置きます。

9 START/STOPボタンを再度押して、すすぎサイクルを開始します。

すすぎサイクルが終わったら、内部洗浄が完了になります。すべてのメニューボタンが点灯、内部洗浄ランプが消灯し、抽出できる状態になります。



ヒント

内部洗浄ランプ「CALC」が点灯していない状態でも、上記手順でいつでも内部洗浄ができます。

故障かなと思ったら

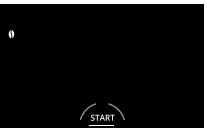
お問い合わせや修理を依頼される前にご確認ください。

このようなとき	原因	対処方法
製品が運転しない	電源プラグが接続されていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	フィルターにコーヒー粉が残っている。	フィルターを取り外し、お手入れしてください。(20ページ)
	水タンクに水が不足している。	水タンクのMAXラインまで水を入れて、START/STOPボタンを再度押してください。
	フィルターが詰まっている。	21ページを参照し、フィルター洗浄を行ってください。
	内部洗浄の必要がある。	22ページを参照し、内部洗浄を行ってください。
START/STOPボタンを押してもコーヒーが抽出できない	コーヒー粉が細かすぎる。	粉の量を減らして、START/STOPボタンを再度押してください。
抽出量が少なすぎる	内部に水の石灰質が溜まっている。	22ページを参照し、内部洗浄を行ってください。
コーヒーがぬるい	湯温の設定が低い。	湯温を高く設定してください。
	水タンクの水が冷たい。	水タンクに常温の水を入れてください。
グラインダーが動かない	コーヒー豆が不足している。	豆ホッパーに豆を入れてください。
内部洗浄ランプが点滅し、使用できなくなった	内部洗浄の必要がある。	22ページを参照し、内部洗浄を行ってください。
内部洗浄しても、内部洗浄ランプが消灯しない	内部洗浄が終わっていない、または中断された。	22ページを参照し、内部洗浄を行ってください。
本体下部から水が漏れている	ドリフトトレイに水が溜まっている。	ドリフトトレイの水を捨ててください。
	ドリフトトレイがずれている。	ドリフトトレイを本体に取り付けてください。
給水ランプが点滅している	水タンクに水が不足している。	水タンクに水を入れてください。
	水タンクが本体に正しく取り付けられていない。	水タンクを取り外し、再度取り付けてください。
フィルターを手前に引いても取り外せない	抽出中に電源がオフになった。	電源プラグをコンセントから抜いた後に再度差し込み、START/STOPボタンを押して電源をオンにします。

アラート表示

イメージ	アラート内容	原因	対処方法
	水不足アラート	水タンクの水が不足している。	水タンクに水を入れてください。
		水タンクが本体に正しく取り付けられていない。	水タンクを本体に正しく取り付けてください。(11ページ)
	粉捨てアラート／フィルター設置アラート	抽出後のフィルターに抽出済みのコーヒー粉が入っている。	フィルターを取り出し、フィルターのお手入れを行ってください。(20ページ)
		フィルターが本体に正しく取り付けられていない。	フィルターを正しく取り付けてください。
	フィルター洗浄アラート	42回抽出した。	フィルター洗浄を行ってください。(21ページ)
	内部洗浄アラート	200回抽出した。	内部洗浄を行ってください(22ページ) 内部洗浄しないまま、230回抽出すると、内部洗浄するまで抽出できなくなります。
	水量センサー異常アラート	水量センサーに異常を検知した。	① START/STOPボタンを2秒長押しし、電源をオフにしたあと、電源プラグをコンセントから抜きます。 ② フィルターを取り出してお手入れを行います。(24ページ)。 コーヒー粉をフィルターに入れる場合、MAXラインを超えないようにしてください。 ③ 水タンクを本体から取り外し、再度取り付けます。 ④ 電源プラグを差し直し、START/STOPボタンを押して電源をオンにします。 アラートがまだ表示される場合、弊社修理センターまでご相談ください。
	抽出プロセス異常アラート	抽出プロセス中に異常を検知した。	
	フィルター目詰まりアラート	フィルターが目詰まりしている。	
		コーヒー粉をフィルターに入れすぎた。	

故障かなと思ったら（続き）

イメージ	アラート内容	原因	対処方法
	ポンプ異常アラート	ポンプに異常を検知した。	① START/STOPボタンを2秒長押しし、電源をオフにしたあと、電源プラグをコンセントから抜きます。 ② フィルターを取り出してお手入れを行います。（24ページ）。 コーヒー粉をフィルターに入れる場合、MAXラインを超えないようにしてください。 ③ 水タンクを本体から取り外し、再度取り付けます。 ④ 電源プラグを差し直し、START/STOPボタンを押して電源をオンにします。 アラートがまだ表示される場合、弊社修理センターまでご相談ください。
	温度センサー異常アラート	温度センサーに異常を検知した。	
	ボイラー異常アラート	ボイラーに異常を検知した。	
	オーバーヒートアラート	製品がオーバーヒート状態になった。	
	豆グラインダー異常アラート	豆グラインダーに異常を検知した。	

保管について

使用後は電源をオフにした後、水洗いできる部品を洗浄し、十分に乾燥させてから保管してください。

MEMO

クルプス by ティファール コーヒークラッシュ		
定格電圧	100V	
定格周波数	50/60Hz	
定格消費電力	1330W	
サイズ（全体）	幅	約15cm
	奥行き	約36cm
	高さ	約29cm
質量（全体）	約4590g	
電源コードの長さ	約1m	
最大使用水量（タンク容量）	1.8L	
豆ホッパー容量	最小：180g 最大：230g	

- ※ 仕様、デザイン、価格等は変更になることがありますのでご了承ください。
 ※ 本製品は日本国内のみで使用できます。
 ※ 本製品は中国製です。

●長年ご使用のエスプレッソメーカーの点検を！		
 愛情点検	こんな症状はありませんか？ ● 電源コードや電源プラグに損傷が見られる。 ● ご使用中に電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ● 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ● いつもより本体が異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。 ● 製品の一部に割れ、がたつき、ゆるみがある。 ● その他の異常・故障がある。	ご使用中止 このような症状が見られるときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずグループセブジャパン修理センターに点検・修理をご相談ください。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター



0570-077772

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。